

杉並区議会議員 鈴木ちづる

発行者：鈴木ちづる事務所
 東京都杉並区井草3-1-16 大沢ビル503
 E-mail：chizurusuzuki3@gmail.com

令和5年第2回定例会一般質問

5月31日（水）子どもの孤独孤立対策について行政が取り組むべきことについて質問いたしました。



一般質問の
フルバージョンは
こちらから



「療育が目的の放課後等デイサービスの
区の今後の方向性は」

【区長答弁】

⇒放課後等デイサービスは、障害のある子どもたちが自分らしく生きていくための成長発達を支援できる重要なサービスの一つであると考えているが、議員ご指摘のとおり、障害児の療育を目的としており短時間の利用を想定しているため、保護者の就労を支える制度設計になっていない。また、保護者の就労を支える障害児の放課後の居場所整備については、複数の関係所管にまたがる課題でもある。そのため、先行して取り組んでいる自治体の例なども参考に、既存の枠組にとらわれることなく、障害児の放課後の居場所づくりの検討を進めたいと考える。

「死にたくなるほどつらい気持ちの子どもたちや学校に行けない子どもたちのつらさが重症化する前に、自分の気持ち、自分の本音を吐き出せる場所は日常の学校生活のどこにあるか」

⇒問題の軽重にはかかわらず子どもたち一人ひとりを丁寧に支援し、居場所づくりを検討していく。

「幼保小連携事業の検証と特別な配慮が必要な子どもへの個別対応（すばるⅠⅡ）について」

⇒幼保小連携担当連絡協議会の取組の連携の機会と一人ひとりに応じた支援の充実を図る。

「学校の危機管理対応マニュアルと周知方法はどうなっているか」

⇒「杉並区立学校危機管理対応マニュアル」の周知徹底を図る。

活動報告（2023年5月24日～）

- 5月28日（日）四宮親交会総会
区政報告会
- 5月31日（水）～6月19日（月）
杉並区議会本会議
- 5月31日（水）第2回定例会一般質問
- 6月 8日（木）視察（富士見丘小中学校）
- 6月 9日（金）文教委員会
- 6月13日（火）災害対策・防犯等
特別委員会
- 6月19日（月）広報委員会
- 6月23日（金）視察（杉並清掃工場）
- 6月27日（火）視察（病児保育室こねこ）
- 6月28日（水）四宮親交会防犯パトロール
- 7月 4日（火）杉並区東倫理法人会講話
- 7月 7日（金）懇談会（杉並女性団体連絡会）
- 7月12日（水）広報委員会
- 7月31日（月）広報委員会

鈴木ちづるも広報委員として杉並区議会だよりの紙面づくりに取り組みました。誰にとっても読みやすい紙面の第一歩として、ユニバーサルデザインの字体にするよう提案し、今回より採用されています。



第2回定例会では、補正予算案1件、条例案33議案の審議を行い、区長提出議案32件と議員提出議案1件を可決しました。議案等の概要と審議結果は8面をご覧ください。



区議会だよりURL

～ ChizuRoomへようこそ ～

ゲストに鈴木ちづるにまつわるお話をしていただくコーナー「ChizuRoomへようこそ」。第2回のゲストは「発達支援ルーム にこっと」を運営する那須洋平さんです。

ことばの育ちが遅い、友達とうまく遊べないなどの1～5歳児のお子さんの発達支援（療育）とご家族の子育て支援を行う教室です。3教室で約150名の杉並区のお子さんが、区の児童発達相談係や保健センターの1歳半・3歳健診の紹介を通して利用いただいています。心理士・言語聴覚士・作業療法士・保育士・音楽療法士などの専門職が在籍しています。



※ホームページ
<https://nicotto-smile-ing.org/>

約10年前、発達支援の教室が区内に足りない状況を改善し、専門的な支援の提供を通して、お子さんとご家族に笑顔届けたいと強く思って始めました。

子育てに悩んでいる時には、まずは区の児童発達相談係に連絡をしてみてください。私達のような専門的な子育てのサポーターとの出会いを繋げていただけたらと思います。

【鈴木ちづる プロフィール】

- 1970年京都生まれ、同志社大学法学部法律学科卒
- 特技：アロマセラピー、筋トレ、生き物と話せる
- 障害児を含む三児の母。杉並に18年在住
- 経歴：
 - ・司法書士事務所にて契約、相続など法律業務
 - ・高齢者グループホームの介護スタッフ（介護、傾聴）
 - ・国立大学窓口、行政の緊急支援窓口（対面業務）
 - ・杉並区子ども子育て会議委員（障害児の親として）
 - ・SNS相談カウンセラー（孤独孤立・自殺対策）として子どもたちの本音を傾聴
 - ・杉並区議会議員 <現任>

公式サイト



<現任>